



○ 員

14・15 日と 2 回に分けて公務員学科の学生たちが YC 校にやってきました。「一人暮らしのための料理教室」を受講するためです。私も高校を卒業してから一人暮らしを 7 年間、単身赴任を 8 年間してきましたので 7 種類（日月火水木金土）の献立はレパートリーにあります。彼らのレパートリーが今回一つ増えたと思いますが、ずっと活用してほしいと思います。

さて「公務員」ということばで思い出したのが中学校で担任をしていたころのことです。誰もが義務教育の小学校中学校を過ごしていきます。中学校の卒業という現実が見えてくると将来の夢や希望をもち始めます。（校外学習や職場体験学習など小学生のころからも将来のことを見つめる学習はありますが。）そういった時期には進みたい分野や就きたい職業についてのアンケートをとるようになるわけですが、記述された職業名には毎年「会社員」とか「公務員」というものがたくさん出てきました。会社にもいろいろな内容の仕事があります。公務といってもこれまたいろいろな内容の仕事があります。もっと具体的な職業名が書けるようになってほしいといつも思っていました。私も長く公務員をしてきましたが、教育委員会勤めをしているときに、市役所の中にはありとあらゆる種類の業務があるのだとあらためて知りました。

専門学校に入学してくる学生たちは数年後に仕事として取り組みたいと思っている内容が基本的には明確で共通です。私はこれまで保育やデザインの学校で授業をしてきたり、今はペットの学科で授業をしています。正直なところ中学校での授業よりも教えていて楽しいです。学びたいものが明確ですからね。楽しいというよりも教えやすいというほうが適切かもしれません。伝えることをしっかり吸収してくれるという実感もあります。（義務教育の授業にも違う種類のやりがいがあります。）

今回受講した公務員学科の学生たちはどんな内容の仕事に就くのでしょうか。消防士になった人と火事の現場で出会うというのは避けたいところですね。

また個人的な話題（余談）です。「員」という題で今回は記述し始めましたが、途中、昔（十代の頃）に聞いていた「悲しき鉄道員」という洋楽を思い出しました。ショッキングブルーというグループが歌っていた曲です。当時は英語の歌詞の意味も知らずに聞いていましたが、このたび日本語訳を見ておもしろい歌詞だなあと感じてしまいました。六十代以上の方ならこの話題、分かりますね。

○ 自校自賛

17 日 YC 校の OC では手毬ずしをメインに作りました。このたび私はハランの飾り切りで参加しました。一人 2 枚 20 人分を前の日に作ったのですが、枚数が多いので途中雑になったものがあることが自分自身の反省点です。実際の宴会などの場ではもっと数が多いでしょうから、集中力は切らないようにしなくてはなりませんね。また、同じ日に KDDI 維新ホールでは“Meguriba フェス”が開催されており、調理師科 2 年生が作ったちらし寿司などを販売しました。似顔絵は OC を手伝った学生たちです。左から O さん、T さん、N さん、H さん、M さんです。

